



新型コロナ感染対策について

今年も6月が終了し、1年の半분이経過しました。6月は梅雨に入りましたが、比較的に気温が高い日が多く、蒸し暑いと感じる日が多い月でありました。7月はいよいよ夏本番を迎える月となりますが、体調管理にはくれぐれもお気を付け頂けたらと思います。

新型コロナですが、感染拡大対策であるまん延防止等重点措置が3月で終了し、少しずつですが感染減少が続き比較的落ち着いた形となっております。新型コロナ感染対策も5月に基本方針が改定され、マスク着用の不要な場所が示されました。国内では経済対策が打ち出され、景気回復基調に入って来ており、その中での感染対策の規制緩和が行われている形ではと感じる次第です。少しずつではありますがコロナ禍前の生活になって来ている感じではありますが、まだまだ油断は禁物と思いますので、引き続きの感染予防をお願いできればと思います。会社としましては当面は今までの感染予防を継続する形を考えております。社員同士の心がけで健康を保つ形となればより良い風土が築けて行けると感じておりますので、部門長をはじめ社員の皆様には引き続きの感染予防の対策をお願いいたします。今月からは夏本番となり熱中症対策も講じていく必要がありますので、部門長の方々には社員の体調管理を引き続きお願いし、適切な作業環境調整の方をどうぞよろしくお願い致します。

それでは7月1ヶ月間、どうぞよろしくお願い致します。

社長 太田 聡
編集担当：島

ポカミス（ヒューマンエラー） まとめ

2021年から連載してきたポカミスについてですが、今回で最終回となります。最終回としてまとめをしたいと思っております。

・まとめ

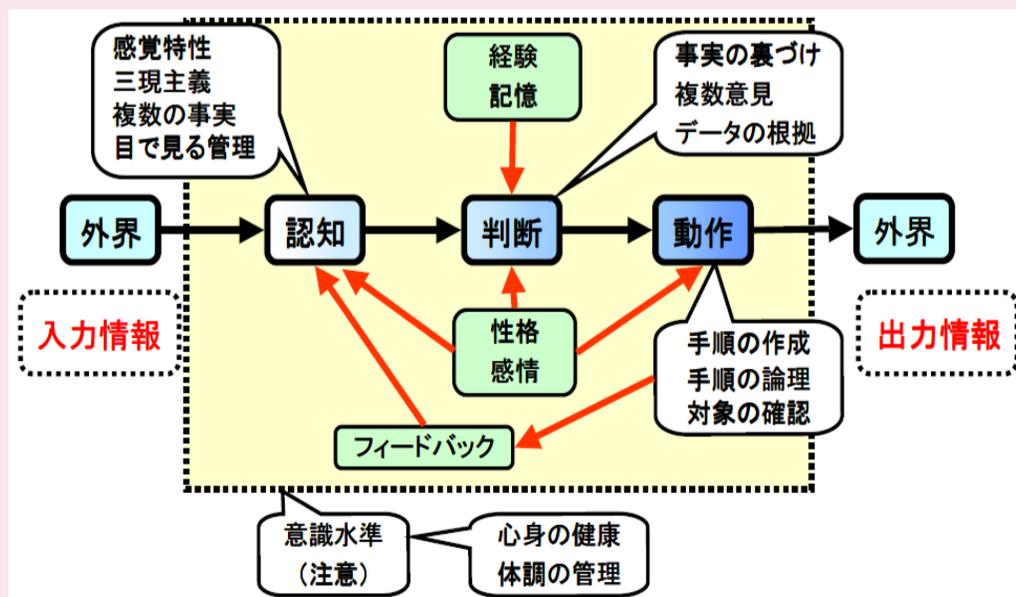
「ポカミス（ヒューマンエラー）」とはどのようなもので、どのような性質を持つものなのかを正しく理解する必要があります。この理解に至って初めて正しい対応ができます。

(※右図参照)

ポカミスの人間的要因をもれなくあげることが困難です。その一方で、人間が持つ学習能力には期待すべきところがあります。(※「ほとんどポカミスをしていない水準」までは、あらゆる教育や訓練で到達できるはず)

ポカミス防止対策は、毎日毎日の積み重ねで出来るものです。

「継続は、真に力なり」です。



以上で、ポカミスについての連載を終了します。

品質保証部

【 ハラスメントに対する方針表明 】

ハラスメント行為は人権にかかわる問題であり、人の尊厳を傷つけ職場環境の悪化を招く、ゆゆしき問題です。当社は、ハラスメント行為は断じて許しません。当社はハラスメントのない、すべての人たちが互いに尊重し合える、安全で快適な職場環境づくりに取り組んでいきます。

令和4年6月1日

アポロ電気株式会社 代表取締役 太田 聡



フィッシング詐欺に引き続き注意！

フィッシング詐欺とは、実在の金融機関（銀行やクレジットカード会社）、ショッピングサイトなどを装った電子メールを送付し、これらのホームページとそっくりの偽のサイトに誘導して、住所、氏名、銀行口座番号、クレジットカード番号などの重要な情報を入力させて詐取する行為のことを言います。今回は、改めてフィッシング詐欺に注意していただくために、最近の事例を含めて紹介していきます。

従来の金融機関を騙ったものだけでなく、佐川急便、日本郵便、ヤマト運輸などの宅配便業者をかたり、お荷物の宛先不明やお荷物を持ち帰ったなどの偽の文面からURLをタップさせる偽SMSも急増しています。また、新たにau（KDDI）、ドコモなどの通信事業者をかたる偽SMSが加わり、利用料金の支払いが確認できないなどの偽の文面からURLをタップさせようとしています。

新型コロナウイルスにより利用者が急増した宅配出前サービスのUber Eats、出前館などを騙る詐欺も登場してきており、世相を反映して、多くの人々が利用するブランドが騙られることが改めてわかります。

近年の傾向としてスマホのSMS（ショートメッセージ）で届くものも注意が必要です。メールによるフィッシングへの警戒はかなり浸透してきましたが、SMSを使ったメッセージは、まだ手口としては新しく、利用中のサービスで、たまたまタイミングが合えば「何だろう？」と反射的に開いてしまう人は多いでしょう。メッセージ上のURLにアクセスして、うっかり情報を入力するとクレジットカード情報を含むさまざまな情報を盗まれてしまいます。

IDやパスワードを入力するwebサイトは、メールやSMSのリンクからアクセスせず、あらかじめブックマーク（お気に入り）やアプリなど事前に登録しておき、そこからアクセスするようにしましょう。



編集担当：島

ねむの木学園 ～宮城まり子～

先月号では、宮城まり子さんの生い立ちについて紹介しました。今月号では宮城さんが設立した肢体不自由児養護施設「ねむの木学園」について紹介します。

宮城さんが障害のある子どもたちの厳しい現実を知ったきっかけは、1957年に『婦人公論』の連載「まり子の社会見学」での取材で小学校の特殊学級を訪ねたことだそうです。宮城さんは連載の誌面に、子どもたちのかわいい劇を見せてもらった時のことを「この子がここを出る時、大人になる時、どうなるのかしらと私は楽しい童話の世界から、現実にひきもどされた気がしました。」と綴っています。

1960年、宮城さんは脳性麻痺のこどもの役を宝塚劇場で演じることになり、脳性麻痺の子を知り、どのような子どもにも、学ぶ権利があり、義務があると思ったそうです。当時、障害のある子どもに学校教育と生活の場が与えられておらず、法律も制度もないことを知り、養護施設を設立することを決心しています。

忙しい女優業の時間外で、脳性麻痺、自閉症について少しずつ学びはじめます。

1968年、私財を投じて肢体不自由児養護施設「ねむの木学園」を設立します。

1972年、全国養護施設の園長の会で、学力があっても、高校進学を認められず、大学進学への道はとざされていると教えられ、首相官邸に直接電話をしました。当時の総理大臣は就任間もない田中角栄氏でした。電話にて直接会う約束を取り付け、官邸に駆け付け角栄氏に児童福祉法の改正、措置費の引き上げ等、現状を説明し、高校進学を予算をつけてもらうよう嘆願しました。翌年である1973年、角栄氏は陳情を受け付け、高校教育を受ける予算がつくことになります。

宮城さんが目指したものは、障害のある人もない人も区別なく、まじりあう社会でした。そして子供たちの感受性を育み絵や歌、ダンスで表現させることでした。

半世紀にわたりねむの木学園を運営してきた宮城さんの人生は、障害に対する差別や偏見との闘いそのものだと思います。

編集担当：島

編集担当より

先月紹介した県民割ですが、現行のルールで7月14日まで期間延長となりました。また、観光庁は6月の感染状況を見極めた上で、7月前半から制度を変更し、全国を対象とした観光需要喚起策「全国旅行支援」を行うと発表しました。割引内容は、旅行代金を40%割引し（1人1泊あたりの上限：交通付き8,000円、その他5,000円）、土産店や飲食店などで使用できる地域クーポンを平日3,000円分・休日1,000円分を進呈します。7月、8月に旅行を予定されている方はチェックしてみてください。

率直なご意見・ご感想をお待ちしております。
general@apollo-elec.co.jp

発行  アポロ電気株式会社

〒438-0004
静岡県磐田市匂坂中1600-11 磐田さぎさか工業団地
TEL:0538-38-2228 FAX:0538-38-2898
URL:http://www.apollo-elec.co.jp

編集担当：管理室

発行日 令和4年7月1日